

き、将来的に、接木工程の効率化を目指した接木ロボット導入にも対応できる苗を作ることが可能です。

④生産コスト

閉鎖型育苗による「生産性向上」と「病害虫リスク低減」、「均一生産による歩留向上」により、一次育苗を中心とした、接木苗に特化するメーカーとして、閉鎖型苗生産システム導入によって収益拡大が可能になります。

5) 委託生産業者の開拓・深耕

既に開拓済みの委託先は直営の長野農場以下数10社を占めますが、2009年（平成21年）度迄に、この数10社を中心に深耕し、全国レベルでよりユーザーの農家に近いところで、二次製品化を行う予定です。

7 結びにかえて

こうした努力も、振り返ってみれば「出会い」と「運」に尽きるのではないかと考えています。商業として農業を教えてくれた兵庫県の農家の皆様、苗事業の一番苦しい時にアースストレート苗を積極的に活用し応援してくれたJA館林・JA板倉様、委託農家展開を支えてくれた熊本グリーンセンターの皆様……。こうした方々との出会いは全くの偶然ではあったのですが、苦しみや喜びを分かち合い、時にはお互い必死に怒鳴り合いながら、農業のために頑張ってまいりました。

最後に申し上げたいことは唯一つ、私の「農業革命」は1円でも安く良い品質の商品を「いつでも・どこでも・いくらでも」提供していくことに、深い理解と協力を惜しまなかった農業を愛する人達に出会い、切磋琢磨できたお陰なのです。

そのことに感謝しながら前向きにがんばっている姿、そして農業に対する熱い気持ち、少しでも読者の皆さんに伝われば幸いです。

最後にもう一度言わせてください。

「日本の農業に革命を」……

Profile 山口一彦（やまぐち かずひこ）

1957年	生まれ
1975年	愛媛大学農学部付属農業高校卒業
1977年	花卉栽培に取り組む
1986年	生産農家用の野菜苗の契約栽培を開始
1991年	大手種苗会社との契約栽培を開始
1996年	有限会社山口園芸 設立 ※代表取締役就任
2001年	ベルグアース株式会社 設立 ※専務取締役就任
2002年	日本野菜育苗研修会 会長就任
2003年	ベルグアース株式会社 ※代表取締役就任
2004年	株式会社山口園芸 組織改組 ※代表取締役就任
